



私たちは皆、尊厳が守られ、自由に幸せを追い求めることができる「人権」が保障されています。

しかし、日本においてはアイヌであることにより、誹謗中傷にさらされるなど、

生きていくうえで多くの不利益をもたらされている人々がいます。

また、誇りの源泉である文化は、現在、新たな法律*によって回復の途上にはありますが、かつて同化政策により奪われたという厳しい過去があります。

本展では、長期にわたり取材を続ける写真家・池田宏の写真を通して、「今」を生きるアイヌの人々について知り、

誰もが誇りをもって生きられる社会に必要なことを考えたいと思います。

*「アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律」(2019年施行)

2019年1月に写真集『AINU』を刊行し2年が経とうとしている。2019年5月にアイヌ新法が制定され、2020年7月、北海道白老町にウポイ(民族共生象徴空間)がオープンするなど、近年のアイヌをとりまく状況は変化に富んでいたともいえるだろう。

多くのメディアがアイヌを話題にする一方で、SNSでは日々アイヌに対するデマやヘイトスピーチが繰り返されている。メディアも差別者たちも、一人ひとりの個の存在を無きものように扱い、「アイヌ」と一括りで語ろうとすることに私は違和感と憤りを覚える。

2008年から北海道へと通い、多くのアイヌの人たちに会い、彼らとの繋がりが増えてきた。通い始めた頃は「アイヌ」というフィルターを

通して、出会った人々や目に映る風景を捉えていた。だが、やがてアイヌの人たちとの関係は、お互いの家族が繋がりはじめたり、友人のような形へと変化してきた。

結果として被写体に向かう意識も、「作品としてのアイヌを撮る」ことから「大切な友人や仲間を写真に残す」ようなものへと変わっていった。人を撮ることに際して、その人の話を聞き、観察をする。その人をできる限り知ろうとする。

アイヌの人たちを撮ることにより、彼らとの日常が生まれた。

今回は、2019年以降に北海道各地で撮影した作品を展示する。これらは、私の大切な人たちの生の声である。

池田宏

池田宏 (いけだ ひろし)

1981年生まれ、佐賀県小城市出身。大阪外国語大学外国語学部スワヒリ語科卒業後、2006年にstudio FOBOSに入社。2009年よりフリーランスで活動。2008年からアイヌ民族をテーマに作品を制作し、現在に至る。

写真集

『AINU』(2019・リトルモア)

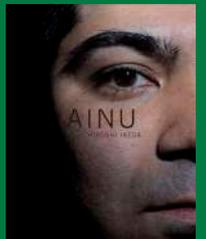
個展

『SIRARIKA』(2018・スタジオ35分)

『AINU-LANDSCAPE』(2019・スタジオ35分)

『AINU-PORTRAIT』(2019・Title)

『SINYE(シヌエ)』(2020・創作一跡地)



『AINU』池田宏(発売:リトルモア)

本作で木村伊兵衛写真賞ノミネート、日本写真協会賞新人賞受賞



池田宏インタビュー動画

YouTube(公財)東京都人権啓発センター
公式チャンネルで公開。



東京都人権プラザ

〒105-0014 東京都港区芝 2-5-6 芝 256 スクエアビル 1・2F

TEL 03-6722-0123 FAX 03-6722-0084

e-mail tenji@tokyo-jinken.or.jp URL https://www.tokyo-hrp.jp/

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、会期変更の可能性があります。また、ご来館にあたりましては、感染拡大防止策にご協力をお願いいたします。詳細は東京都人権プラザホームページをご確認ください。

(注) ご来館の際は公共交通機関をご利用ください。身体障害者の方等、公共交通機関の利用が難しい方専用の駐車スペースをご用意していますので、事前にご連絡ください。

交通

- 都営三田線「芝公園駅」A1出口から徒歩3分
車いす・ベビーカー等ご使用の方は、A3出口エレベーターをご利用ください。
- 都営浅草線・大江戸線「大門駅」A3出口から徒歩7分
車いす・ベビーカー等ご使用の方は、A1出口エレベーターをご利用ください。
- JR・東京モノレール「浜松町駅」金杉橋口から徒歩8分
車いす・ベビーカー等ご使用の方は、改札を出る前に駅員にお声かけください。